



令和4年度

多北高 FRH 通信 第35号

令和5年2月27日(月)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

第7回高校模擬国連東海大会

その3

2日間の模擬国連が終わりました。本校からの参加生徒は、他校生の大使たちのものすごさに、圧倒されていました。しかし、特に対面となった2日目は、自分なりの積極的な活動ができました。

今回の通信では、参加生徒の感想を紹介します。

☆参加したきっかけ

- ・絶対に参加したかったから
- ・友達に誘われたから
- ・将来のために経験しておきたかったから 等々

☆印象に残った内容

- ・どの大使も、自国の利益を守るために積極的に発言をして、要求を通そうとしていたこと。また対立するだけでなく、最終的な合意に持っていくために、対立する二者、あるいは三者の間を仲介し、取りまとめをうまくしていく人がいたこと。
- ・ロシア大使が戦略として、ルーム1と3を行き来し、立場を最後まで明確にしないことで、現在のロシアの状況を再現していたところ。
- ・自分の担当国を調べる中で、その国の現状を知ることができたり、それに対する政策を考えることができた。そのことによって、周りの国との関係が理解できたり、視野が広がった感じが印象に残った。



最後に、参加大使全員で記念撮影。

☆感想

- ・参加している人たちが、本当に中高生とは思えないくらいしっかりとしていた。自分の意志をしっかり持ち、それを周りの人に伝え、納得させようとする姿とか、英語でのスピーチで心を込めて訴えている姿とか、この2日間本当に、刺激を受けることばかりでした。
- ・他の大使さんたちが素晴らしく、相当調べたり、政策・方針を練ってきたんだろうなとわかるほどに、自国の主張ができていたり、グループのまとめ方が上手な人などがたくさんいました。自分もあんな風になりたいと思いましたが、日程的にもう参加できないのかなと思うので、もう少し前から始めていればよかったな、と思いました。
- ・世の中には、すごい人がいっぱいいるんだなと思った。多北に閉じこもってでは分からなかった景色を見られて、とても貴重な経験だった。
- ・模擬国連に参加している人達の、レベルの高さをすごく感じた。自分の意見をちゃんと持って、それを初対面の相手にでもはっきりと主張できている姿が、すごかったです。特に1日目が終わった段階で、各国から出た意見をまとめ、自分なりのDRを作ってきている人もいて驚いたし、本当に同じ高校生なのかと思いました。すごく勉強になったし、何より楽しかったので、機会があればまた参加したいです。
- ・周りに流されたまま進んでしまい、理解が全くできず、異なるグループへの説明を頼まれたときに全然できなかった。分からないこと、納得できないことは、どんどん言っていくべきだということが分かった。
- ・高校生になってから、このような大きな問題に対して、ある一つの立場から考えるという機会が無くて、深く考えることの楽しさを忘れていたけれど、今回改めて、その楽しさを感じることができた。違う学校の人でもレベルが皆高く、経験を積めば自分の成長も期待できると思った。

